

事務事業名	後期高齢者医療事業	所属部	市民環境部	所属課	市民生活課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	生活グループ	課長名	宇田川 康司	
	施策名	〈19〉地域医療の充実	担当者名	舟木 裕子	電話番号	0854-40-1031 (内線) 2126	
	目的・対象	市民 意図 安心して必要な医療サービスを受ける。	予算科目	会計	款	大事業名	後期高齢者医療特別会計
	基本事業	〈056〉医療行為を受ける機会の保障		1	2	大事業名	後期高齢者医療特別会計
目的・対象	市民 意図 医療行為を受けることができる。		項目	中事業	中事業名	後期高齢者医療特別会計	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
75歳以上の者 一定の障がいがあると島根県後期高齢者医療広域連合が認定した65歳以上の者	医療費自己負担部分のみの支払いで受診できる。 健診や健康教室等に参加できる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	県広域連合(保険者)と連携し、75歳以上の高齢者と一定の障がいがあると認定した65歳以上の者を被保険者とした医療保険制度を運営する。加入者が医療機関等で診療を受けた場合、その費用について法定の給付割合の範囲での給付、高額療養費等の支給を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 保険料の徴収・賦課決定通知書発送 被保険者の資格管理 療養費等支給等の受付・入力	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 被保険者数(3月末)	人	7,880	7,882	8,111	8,200
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事業費計 1,184,218千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
・総務費等 3,730千円		県支出金	千円			
・保険料負担金 603,399千円		地方債	千円			
・療養給付費負担金 577,089千円		その他	千円	1,177,124	1,181,044	1,184,218
		一般財源	千円			
	事業費計	千円	1,177,124	1,181,044	1,184,218	1,230,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度の運営により、安心して医療機関を受診することができる。
② 事業実施するうえでの課題	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、県広域連合と連携して行っている事業のため、市独自が変更できる事業ではない。 保険者の広域化を行っているため、市町村の事務負担が軽減されている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	今後も、県広域連合と連携し、後期高齢者医療制度の事務を適切に行う。 (少子高齢化が進み、現役世代が減少する中で、増え続ける高齢者医療費が課題となっており、今後の制度改正等を注視していく。)